

2010年11月10日

竹中大工道具館開館25周年記念巡回展

「棟梁 - 堂宮大工の世界 - 」オープニングイベント

「堂宮大工の技 - 唐招提寺金堂の斗拱（ときょう）を組む - 」 実演について

産業技術記念館では、竹中大工道具館殿の開館25周年記念巡回展として11月20日（土）～12月28日（火）に開催される「棟梁 - 堂宮大工の世界 - 」展のオープニングを飾るイベントとして、堂宮大工の技を実演にてご紹介いたします。

4 m近い高さとなる唐招提寺金堂の斗拱（ときょう）原寸大模型（国立科学博物館蔵）を、建設機械などを用いない伝統の技法で組み立てます。この模型は、法隆寺大工の西岡常一棟梁の指導のもと原寸大に再現されたものです。

堂宮大工の技を間近にご覧いただける絶好の機会ですので、ぜひともご来場ください。

1. 日 時： 2010年11月20日（土）
10:00 ~ 11:30 ご挨拶に続いて、柱・斗拱の組み立て
13:30 ~ 15:00 軒の組み立て
2. 場 所： 産業技術記念館 エントランスロビー
3. 実 演： 鶴（いかるが）工舎、北村智則（竹中大工道具館技能員）



この部分が「斗拱（ときょう）」です

撮影：飛鳥園

【斗拱とは】

屋根の荷重を柱に安全に伝えるための重要な構造材であると同時に、建物の外部表情を決める意匠材でもあります。伝統建築ならではの木組みの面白さが見て取れる部分です。

組み立て実演の後、この斗拱原寸大模型は12月26日（日）までエントランスロビーに展示します。

なお、エントランスロビーでの当イベントならびに斗拱のその後の展示は、無料でご観覧いただけます。

以上

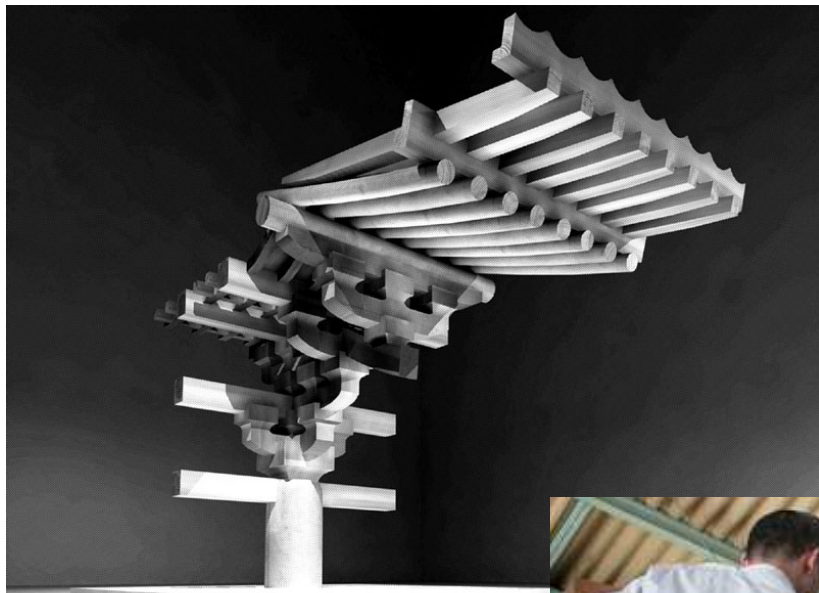
<お問い合わせ>

広報・営業室 成田、遠藤、加藤

TEL : 052 - 551 - 6111 / FAX : 052 - 551 - 6199

画像提供連絡先

E mail: c.kato@tcmit.org



唐招提寺金堂斗拱 原寸大模型



組み立ての様子（撮影：畑拓）

【産業技術記念館のご案内】

産業技術記念館は、「研究と創造の精神」と「モノづくり」の大切さや素晴らしさを、次の世代を担う若い人々をはじめ、広く社会にお伝えし、社会の健全な発展に役立てていただくことを目的としてトヨタグループ13社の共同事業により設立、豊田喜一郎の生誕100周年を記念して1994年6月11日に開館しました。2009年4月29日には入館者250万人を達成し、2010年6月、開館16周年を迎えました。

実物本位で分かりやすく展示し、製造に必要な技能を実演や展示物を動かして説明する（動態展示）ほか関連技術・研究開発も合わせて紹介しています。

(1) 所在地： 名古屋市西区則武新町4-1-35
TEL：052-551-6115
FAX：052-551-6199

(2) 開館時間： 9:30～17:00（入館は16:30まで）
* 休館日は月曜日（祝日の場合は翌日）

(3) 入館料： 大人 500円、 中・高生 300円、 小学生 200円
65歳以上 無料、 団体割引あり

(4) ホームページ： <http://www.tcmit.org>

<お問い合わせ> 広報・営業室 成田、遠藤、加藤
TEL：052-551-6111 / FAX：052-551-6199
画像提供連絡先 E mail: c.kato@tcmit.org
